

2024年度 第10回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 選考報告

選考委員長 櫻井 一弥

1. 応募講演

5 講演

2. 選考経過

2-1 建築デザイン発表会

2024年6月22日(土) 11:00~11:55

於：アイーナいわて県民情報交流センター8階 803会議室

(岩手県盛岡市盛岡駅西通一丁目7-1)

応募5講演のポスター掲示、ならびに発表が行われた。限られた発表時間の中でそれぞれのコンセプトが紹介されるとともに、活発な質疑回答が行われた。発表会は滞りなく進められた。時間厳守にご協力いただいた発表者各位、聴講者各位に感謝申し上げます。

2-2 選考委員会

2024年6月22日(土) 12:05~12:30

於：アイーナいわて県民情報交流センター7階 学習室3

発表全体を聴講した建築デザイン教育部会の部会員3名(下記参照)で、建築デザイン発表賞にふさわしい講演を選出することとした。

内規に従い、計5件の講演より1つの講演を選出することを確認し、部会員相互で協議した。様々なタイプのプロジェクトがある中で、どのように賞を選出するか、議論が難しかったが、最終的にはそれぞれのプロジェクトを多角的な視点から評価し、議論を通して決定することとした。

その際、内規に記載の通り、建築デザイン発表会を欠席する部会員には事前に講演梗概を開示し、賞にふさわしい候補を挙げてもらうこととしていた。欠席の部会員からE-01を推薦したいとの意見が1件寄せられていたため、その点を考慮した上で、選考委員会に出席した部会員の協議で決定した。

結果、次節に示す講演に第10回建築デザイン発表賞を授与することとした。

選考委員長： 櫻井 一弥 (建築デザイン教育部会長、東北学院大学)

選考委員： 小地沢将之 (建築デザイン教育部会幹事、宮城大学)

馬渡 龍 (八戸工業高等専門学校)

3. 選考結果

第10回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 1点

E-05「地域資源を活かした復興計画に関する設計提案 -大槌町の湧水に着目して-」

相澤 佑斗、友渕 貴之 (敬称略)

(宮城大学)

4. 講評

「地域資源を活かした復興計画に関する設計提案 -大槌町の湧水に着目して-」

本講演は、岩手県大槌町に古くから見られる淡水の湧水を中心とした地区のマスタープランを設定し、それに合わせて湧水の魅力を活かした建築空間を提案したものである。対象地区では、昔から多くの箇所では湧水が自噴しており、共同の洗い場などの生活用水としてコミュニティの中心に位置していた。東日本大震災時には、地盤沈下の影響と考えられる自噴湧水の増加が見られ、被災者の生活を支えていたが、その後盛土によりその数が劇的に減少してしまったようである。本講演では、現存する湧水の箇所を丁寧にリサーチし、湧水の音が聞こえる範囲と高齢者の生活圏域などから地区内のゾーニングを設定している。建築物は、その湧水を活かすようにレベル差を設けた上で円形のモチーフを中心として設計され、図書館や飲食店、農作物加工場などが配置されたものである。

選考委員会では、最終的な建築物のデザインがやや過剰なのではないか、といった意見が出されたが、自噴する湧水によって形成されてきた独自のコミュニティに着目した点や、緻密なリサーチとマスタープランの妥当性などが高く評価され、今回の賞に選出された。

以上